

米非常事態



農民連

●農民運動全国連合会
農民連ふるさとネットワーク

〒173 - 0025

板橋区熊野町 47-11

TEL 03-5966-2224

Fax 03-5966-2226

E-mail

Info@nouminren.ne.jp

このままでは米作りが消えてしまう 政府が米価と需給に責任を持つ米政策を!

力を合わせて政府に迫りましょう 農民連は要求します

政府が米を減産してきたなか、異常気象で生産量が減り、米消費量も増えて米流通が混乱しています。市中での米取引価格が2万円を越し、米屋さんは仕入価格高騰と品不足に苦しんでいます。米の民間在庫量も急激に減少しています。

農水省の発表で21年、22年の稲作農家の所得は一万円で時給10円にすぎません。資材費高騰が追い打ちをかけ、米を作っても赤字で稲作からの撤退が止まりません。このままでは地域から稲作が消えてしまいます。

不作や国際的な需給変動があっても、国民が安心して国内産米を食べ続けられるようにするために、力をあわせて米価と需給に政府が責任をもつ米政策に転換させましょう。



- ◆ 不作や国際的な需給変動があっても、国民が安心して国内産米を食べ続けられるようにするために米の減産政策から増産に転換すること。国民の1年間の需要をまかなう規模の備蓄を制度化すること。
- ◆ 格差と貧困対策として消費者への食料支援を制度化すること。
- ◆ 水田機能を最大限活用し、主食用米・加工用米・備蓄米・飼料用米まで作付けを全面的に拡大すること。水田の畑地化や産地交付金力ツトを見直すこと。
- ◆ 米を再生産できる所得を確保できるようにするため、直接所得補償を実施すること。